

映画監督 三上 康雄氏 講演会

甘えを斬る

～勝ち残るために～

映画監督の情熱溢れるトークと、音と映像による
臨場感を五感を通して感じて下さい。

5/20 月 【受付開始】18:40
【講演】19:00～21:00

会場: テラッソ姫路4F アースシネマズ姫路 スクリーン1番

映画業界は1960年以降長期にわたって低迷が続き、斜陽産業と呼ばれていましたが、現在では経営革新も進み、産業全体として回復の兆しを見せています。とくに、1つの施設に複数のスクリーンを有するシネマコンプレックス(シネコン)の普及とともに映画の公開本数が増えたことが大きな要因となっています。国内では3大手が牽引するなか映画業界では珍しく1社単独で企画から資金調達をされ映画監督であり脚本はもとより、劇中曲の作曲やビジュアルデザインなどマルチに活躍している三上康雄氏をお迎えし芸術力と統率力と商売力、三方向をひとつにまとめて戦う映画づくりの情熱を中心に講演をいただき映画の世界観に迫っていきたいと思います。青年部メンバーだけの未公開映像を迫力ある映像・音響で感じていただき新たな気づきを得る機会です。

講師: 三上 康雄

本格正統にこだわり続ける時代劇映画作家

1958年1月20日、大阪市東区(現:中央区)生まれ。近畿大学商経学部経営学科卒業。1974年、高校時代に、自主映画製作グループ・BJccを結成し、解散する1979年までに、数本の短編と、時代劇やアクション映画を4本を監督する。当時の自主映画にはなかった時代劇やアクション映画を製作していた為、発表の度、テレビやキネマ旬報等、各種メディアから注目される。1982年、自主映画初の16mm時代劇映画「轟動」を製作・監督し、関西自主映画界の雄と呼ばれた。その後、家業のミカミ工業株式会社(1909年創業)に入社し、2001年より三代目の代表取締役社長に就任し、その経営手腕で順調に業績を上げる。2011年、創業100年を期に、後継者不在の為、自社の全株式をM&Aで売却する。2012年、30年の時を経て、映画製作会社の株式会社三上康雄事務所を設立し、劇場用時代劇「轟動-しゅんどう-」を製作。脚本・監督・編集等も兼任。この「轟動-しゅんどう-」で日本監督教会の新人監督賞にノミネートされた。居合、殺陣、武術等も自ら行うことができる。主な監督作品:「荒野の狼」(1976年)、「乱流の果て」(1977年)、「二天一流」(1978年)、「闘争の宴」(1979年)、「轟動」(1982年)、「轟動-しゅんどう-」(2013年)、『武蔵-むさし-』(2019年5月25日全国公開)。



©2019 三上康雄事務所



入場方法

テラッソ姫路4F アースシネマズ姫路フロント前
にて受付。青年部名札が入館許可証になります。



アクセス

電 車: JR「姫路駅」下車 東口すぐ、山陽電車「姫路駅」下車 徒歩5分
自動車: 姫路バイパス「姫路南ランプ」より姫路市街地方面へ約10分
バ ス: 神姫バス「姫路ターミナルスクエア」より徒歩6分

駐車場

当日最大800円
(0:00～24:00)

最初
1時間無料

1時間/400円
以降30分/200円

青年部メンバーへの駐車場サービスはございません。ご了承下さい。

飲食禁止